**第２回　運営推進会議　議事録**

平成３０年　３月　２０日（水）１６：３０～１７：３０

出席：ご利用者様　２名

　　　ご利用者ご家族様　１名

民生児童委員様　２名

自治会長様　１名

　　　可児市役所　高齢福祉課より１名

　　　可児市帷子地域包括支援センターより１名

レッツ倶楽部にしかに　スタッフ　２名　　　　　　　　　　　計１０名

○運営推進会議　議題

1. ご利用者様の状況・サービスの状況
2. プログラム報告
3. ご利用者様の意向の確認や意見交換
4. その他

○運営推進会議　内容

・出席者自己紹介

・サービス内容、利用状況、ヒヤリハット・苦情等報告

利用者様状況やサービス状況、ヒヤリハット・苦情など、レッツ倶楽部にしかにの運営状況を施設長より報告。

・意見交換

　利用者様に普段の利用の感想、ご家族様からの感想等話していただいた後、民生児童委員様、包括支援センター様、市役所高齢福祉課様より意見をいただく。

※地域密着型通所介護での運営推進会議ですが、総合事業も行っているのでサービス全体を話題にして行いました。

○会議にて出た課題や意見など

ご利用者様より

・マシントレーニング中のカウントにＣＤを使っていることでテンポが乱れない。

・スタッフの運動に対する知識が増えている。スタッフ同士の高め合いを感じる。

・クレームについての対応も早い。

・通い続けることで身体が楽になった気がする。

・送迎がありがたい。

・自己流になっている方がいるので、遠慮することなく指導を頑張ってほしい。

・皆でやることと各自でやることがはっきりしていると良い。

・他の方との話が楽しいようです。

・本人が笑顔で帰ってくるとうれしいです。

帷子地域包括支援センター様より

・機能訓練だけでなく会話や送迎で利用者様に貢献していると思います。

・緩和型サービスにおいて送迎があることで利用しやすい反面、本来送迎がなくても問題ない人も送迎に頼ってしまうことがある（歩くことが目標なのに）。

その他

・これからはサービスＡだけでなく地域の活動も選択肢に。

・平均寿命が延びているが、健康寿命を延ばすことが大事。

・回覧板や広報で情報の収集を行っていくことが大切だが、なかなか家族のいる高齢者にまで情報が回らないこともあるので、関係機関に気軽に聞いてもらうことも必要。

次回、平成３０年９月開催予定